

理学部（数物科学科 物理学コース）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【前提となる教育理念】

物理学コースでは、幅広い自然科学の素養と物理の専門知識を持ち、社会の様々な分野でリーダーとして活躍できる人材を育成することを目標としています。

【身につけるべき力】

そのために系統的な学習と実践的な研究活動を通して、

- ・全学共通科目、学部学科共通科目および他コース科目の履修を通して得られる、幅広い一般教養と自然科学一般の素養
- ・体系的に編成されたコースの講義、演習、実験科目、卒業研究の履修を通して得られる、物理学の専門的知識
- ・修得した素養や知識を基礎として、自ら学習し、また課題を追求・解決する能力
- ・自身の知識や思考能力を社会の中で役立てるために必要な情報発信能力

を身につけることが求められます。

【学位授与の要件】

以上のような目標に向かって所定の期間在学して十分に学び、定められた卒業要件を満たした学生に学士（理学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【カリキュラム構成の基本方針】

物理学全般の基礎を学んだのち、発展的科目を学習することにより、物理学の諸分野にわたる高度な内容を系統的に身につけます。物理学コースのカリキュラム・マップを下記に示します。

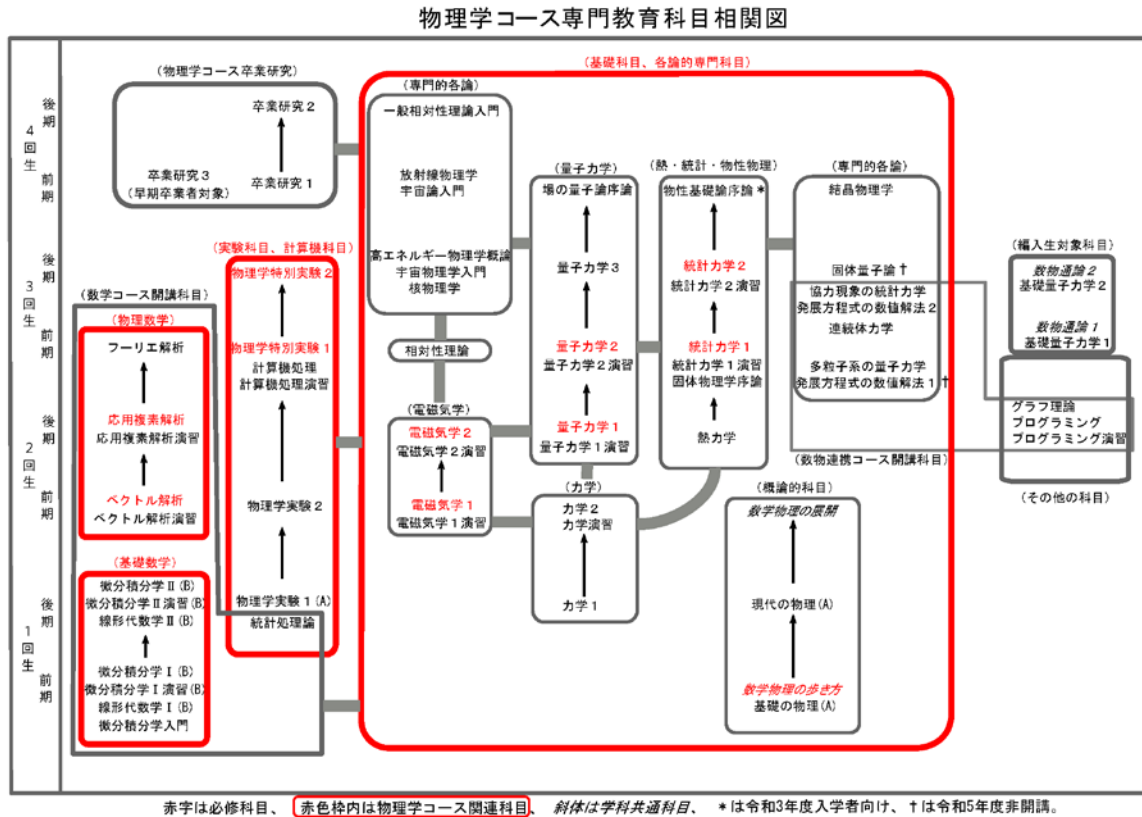
【教育の内容と方法】

物理学コースでは、物理学における基本的な法則を理解し身につけるために、初年次に入門的な専門基礎科目を学習し、2～3年次に基礎的な専門科目とその演習科目を学習します。また、目の前で起こる物理的現象の理解や探求心を身につけるために、物理学実験の授業科目を初年次から学習します。さらに、物理学の探求において必要な論理的思考を身につけるために数学の授業科目を系統的に学習し、計算機物理に関する基礎的な知識と応用力を修得するために、コンピュータ実習の科目も学びます。

最終年次には、少人数による卒業研究を履修し、物理学における問題解決に必要な、課題発見力、計画力、創造力等を身につけます。

【学修成果の評価】

学習成果は、試験結果やレポート、論文などにより客観的に評価されます。



数物科学科 物理学コース カリキュラム・マップ

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【教育理念】

物理学は自然科学の中でも最も基礎的な学問であり、物理学の対象は宇宙から目に見えないミクロな世界までの広い範囲にわたります。また、物理学は自然科学諸分野をより統一的観点から研究する際にも重要です。物理学コースでは、体系的な物理の基礎教育と専門教育を通して、現代の高度化した科学技術の様々な分野で活躍できる理系女性人材の育成を目指しています。

【求める学生像】

このような教育理念に基づき、物理学コースは自然の不思議に対する好奇心と、それに対して何故だろうと考える探究心を持った情熱と意欲のある学生を求めます。

高校の学習で身につけた学力が、大学でさらに物理学を深く学ぶための基礎になるので、物理コースを希望する学生は、特に物理学と数学をしっかりと身につけておくことが大切です。また、化学や生物など他の自然科学全般に興味をもち学習しておくことを勧めます。英語も知識の習得・伝達に重要であり、十分な能力を身につけておくことが必要です。